

学年だより

第32号 2022年3月8日(火)

自分を大切に 仲間を大切に 豊中市立第十五中学校 42期 第2学年

人権学習をしました！

2年生では、「世界の果ての通学路」というドキュメンタリー映画を見ました。映画を通して、当たり前前に学校に通い、学ぶことができていることのありがたさ、学ぶことの大切さを感じ、学ぶことの意義を考えました。みなさんの感想の一部を紹介します。

★めっちゃ遠いところから通っている子供たちを見て、自分が情けなくなりました。20分くらいで長いと言っている自分とは比べものにならないなと思いました。学校で勉強することは当たり前じゃないんだと思いました。同じ年齢の人たちでも学校に行けてない人たちはたくさんいるから、今自分が毎日学校に通えていることを大切にしないといけないなと思いました。今日見たビデオで印象的だったことは、子どもがそれぞれ夢を持っている事です。何もなしに学校に行くんじゃなくて、目標があるから勉強しに行っていることに気が付きました。私も目標を何か一つでも持って、勉強に励みたいと思います。友達と過ごせる毎日を大切に、1日1日を楽しくかけがえのないものにしたいと思います。

★日本では通学する時間は長くても20分くらいだけど世界では何時間もかけて学校に通っている人たちがいる。映画の中の学びは将来の夢ややりたいことを叶えるための学び、自分たちの学びは将来の夢など決まっていなくて、ただ学校に行っているだけの学びで、学校に行きたいという気持ちが全然違うと思いました。自分たちは当たり前のように学校に行っているけど、行きたくてもいけない人もいるので学校の大切さを忘れてはいけない。

★映画の中の子ども達は、学校へ行くために3時間くらいかかっていたのに、着いたら勉強を集中していたのですごいと思いました。

★自分たちがどれだけ安全に学校に通えているかを改めて知ることができました。なので、映画の子どもたちにも安全で楽しく学校に行ってもらうために、ダルニー奨学金などの募金活動に積極的に協力しようと思いました。



★今自分たちが当たり前だと思っている学校も満足に出来ていない子たちがいることを知れたので学校に行くことができていることに感謝して、真面目に授業を受けたいです。そして、夢を持つことは素晴らしいと分かったので、自分も将来の夢に向かって進んでいくために勉強を頑張りたいなと思いました。

★映画の人は、学校に行けることが当然と思ってなくて、夢や目標に向かって学びたいと思って勉強していて、自分達は普通に学校に通っていて当然かどうかすら考えないけど、本当はすごくありがたいことなんだなあって思いました。学びたい意欲や姿勢からまず違うので、尊敬できます。自分も夢や目標をハッキリ見つけて、そのために勉強できるようになりたいと思います。インドの3兄弟やその子の学校の子みたいに他の人を当然のように助けてあげるような所も見習いたいと思いました。

★日本の子どもは義務教育で行きたくないとか、めんどくさいとかいう人が多いけど、世界を見てみると通学が何時間かかっても、命が危ない時があっても学校に行っていて、私もめんどくさいとかよく言うがぜいたくな悩み何だろうなと思いました。映画を見てみるとみんな夢や目標があって、そのために頑張っているけれど、私は夢とかあるわけでもなく、とりあえず高校や大学に行かないとなとかアバウトに考えているのも違うなと感じました。

★今回見た映画を通して、自分が数分で学校に行くことができ、何時間も勉強することができるのは普通の事ではない、将来のために一生懸命学校に向かう子もいるということに気付きました。周りの人たちの支えもあって自分は毎日学校に行けるんだなと感じました。映画で見た子供たちには夢をかなえて欲しいし、自分も頑張って学校で勉強しようと思います。今回見た子供たち以外にも命がけで登校している子供たちにも少しでも助けになるようなことを自分でできる範囲で探し、考えてみようと思います。

明日は…DANCE発表会☆≡

体育の授業を通して一生懸命、チームでダンスを考えていました。

本番は、緊張すると思いますが、今までの練習の成果を思う存分発揮してください！

先生たちは、すごく楽しみです♪

明日は、4時間授業です。(昼食なし)
クラブ黒板を確認しておきましょう。

